

1. 件名：「大間原子力発電所の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（129）」

2. 日時：令和4年12月8日（木）13時30分～15時15分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門：

岩田安全管理調査官、佐藤主任安全審査官、永井主任安全審査官、
藤川安全審査官、松末技術参与、馬場係員

電源開発株式会社 首藤 敦 執行役員 原子力事業本部 原子力技術部長

他13名^{※1}

※1 テレビ会議システムによる出席

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり ※2 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 大間原子力発電所 審査会合における指摘事項について（地震・津波関係）
- ・ 大間原子力発電所 地震・津波関係に係る検討状況及び今後の工程について
- ・ 大間原子力発電所 敷地ごとに震源を特定して策定する地震動のうち内陸地殻内地震について（コメント回答 その3）
（F-14断層，及び奥尻3連動による地震の地震動評価）
- ・ 大間原子力発電所 敷地ごとに震源を特定して策定する地震動のうち内陸地殻内地震について（コメント回答 その3）
（隆起再現断層による地震の地震動評価の方針）^{※3}

※3 当該資料については、本ヒアリングにおいて説明を受け、その内容について確認する時間が十分でなかったため、後日改めて説明を受けることとした。

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	それぞれ、通しではなくて分けて説明をしていただきたいんですが、
0:00:05	どうしようかな。
0:00:08	うん。ちょっとまずですねすいません資料のですね検討状況と今後の工程についてというのを説明していただいた後に、資料の
0:00:20	コメント回答その3という値の分厚いほうですねF14と富士山年度、それが終わってから、隆起再現断層とそういう順番にしたいと思いますけどよろしいですか。
0:00:33	はい勝高岡でございます。承知いたしました。はい。そうしましたらまず工程の方からですねご説明をお願いします。
0:00:42	はい。改めまして電源開発の首藤でございます。
0:00:46	本日はF-14断層及び奥尻3連動による地震動評価及び、
0:00:52	隆起再現断層による地震動評価の評価方針のご説明となります。
0:00:57	具体的内容について担当者よりご説明させていただきますので、よろしくをお願いいたします。をお願いします。
0:01:04	アトムとしてタカオカでございます。すいませんちょっと資料の冒頭お話をしてください。本日は10月6日のヒアリングを受けまして、内陸地殻内地震のコメント回答と、
0:01:17	あわせて今後の工程の検討状況についてご説明いたします。
0:01:22	F-14断層と奥尻3連動の地震の地震動評価につきましては、9月16日の審査会合でのコメントを受けて内容を精査してございまして、
0:01:32	次回審査会合で良しと言っていただけに、
0:01:36	考え、資料を準備いたしました。
0:01:39	隆起再現断層による地震の評価方針につきましては、10月6日のヒアリングを受けて、新第3点の古い時代の地質構造を出発点として、
0:01:49	私どもとして知恵を絞って再整理いたしました。
0:01:53	本日は、私どもの考えをご説明させていただきます。
0:01:58	弊社の希望といたしましては、ぜひとも年内の審査会合でご審議いただけると幸いと考えておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。
0:02:08	そうしましたら資料のご説明に移らせていただきます。冒頭ございましたように、まず、今後の工程と検討状況について、
0:02:19	こちらについて事務局の仲村マネージャーから、
0:02:23	規制庁さんとの質疑応答を経て地震動
0:02:28	随時、ご説明して参ります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:32	院長。
0:02:35	はい。電源開発の仲村でございます。それではですね、資料番号をM1 C A 17 R 02 の資料。
0:02:44	大間原子力発電所地震津波関係に係る
0:02:48	検討状況及び今後の工程について、御所、ご説明いたします。
0:02:53	まず2ページのA3の工程表をご覧ください。
0:03:01	小中記号等の、
0:03:04	判例ですけれども、
0:03:06	下三角印がヒアリング及び現地確認。
0:03:10	あと星印が審査会合とし、予定のものは白抜き実績なものは記号の中を黒で塗っております。
0:03:18	また、ヒアリングから最後まで期間は、直近の地点を含む実績を考慮しまして、2週間程度を想定しております。
0:03:27	それでは、項目ごとに説明していきます。
0:03:32	まず、敷地、地質です。
0:03:35	シームS11評価方針につきましては、
0:03:38	工学的対象の方針を考慮の上、11月の2、10月24のヒアリング、あと11月7日の現地確認にてご確認いただいた内容を踏まえまして、
0:03:50	第3条への適合性の評価方針について、
0:03:53	12月15日に説明予定としております。
0:03:59	なお、シームS11-A評価、青フルバージョンにつきましては、
0:04:05	答申の審議結果を踏まえまして、工程を反映する予定です。
0:04:10	従いましてその評価の説明を行う現地調査についても、本工程は未反映としております。
0:04:17	続いて、地震動です。
0:04:20	敷地ごとに震源を特定して策定する地震のうち、内陸地殻内地震は、9月16日の第1073回審査会合におけるF14断層及び、
0:04:32	奥尻3年度の指摘事項に関するコメント回答並びに、
0:04:36	教育債権断層の地震と、
0:04:38	評価方針を、
0:04:39	あわせて、本日、この後、この後ご説明いたします。
0:04:46	信号を特定せず策定する地震動につきましては、比木ごと、敷地ごとに震源を特定して策定する地震動につきまして、
0:04:55	説明予定としております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:58	全国共通に考慮すべき地震動のうち、標準応答スペクトルは、
0:05:04	模擬地震派の代表版を選定根拠について、
0:05:09	留萌支庁南部地震につきましては、敷地の地盤特性に応じた分の1基盤はの補正方法について、それぞれ検討済みでございます。
0:05:19	地域性を考慮する地震動についても、検討対象地震の震源周辺と敷地周辺との類似性について検討済みです。
0:05:28	最後に津波です。
0:05:31	地震による津波と地震以外の要因による津波の組み合わせにつきましては、
0:05:36	東北電力、
0:05:37	管野東通地点へのコメントを踏まえた統一波動場に係る検討も含めて、
0:05:44	組み合わせ対象ケースの抽出解析検討を実施済みでございます。
0:05:50	基準津波策定は、
0:05:51	その津波の組み合わせの審議について説明を提供しております。
0:05:58	工程に関する説明は以上でございます。
0:06:03	はいありがとうございましたそうでしたら何か。
0:06:05	確認したいこととかあればお願いします。
0:06:17	はい。特にはありませんが特定せずの中にあっただすね、件については選考をよくご覧いただきたいということと、あと地域性については1回我々聞いてますけれどもこれも東通の審査ご覧いただいていると思いますのでそれらについてね、
0:06:32	御社の中でしっかり考えて対応をお願いしたいと思っております。松波のそうですね、津波についての組み合わせ、東通まだ終わっていないんですが、これも御社と並行してやられるのか東通を見ながらやるのかそこは
0:06:47	皆さんの戦略だと思いますのでその辺りはね、よくよく考えて進めていただくようお願いいたします。我々からはそんな感じですが、何か工程等でですね確認しておきたいことってありますか。
0:07:01	タカオカでございます。
0:07:03	特定サトウについては承知いたしました。先行地点の審議動向見つつ、特に東通版の地域性を考慮する地震動、岩手宮城など、
0:07:15	友利さんも越智一つ、我々も、
0:07:18	フィードバックして検討しているところでございます。
0:07:22	それから津波につきましても、比嘉詩織さんの検討状況ですね審査会合の評価方針等そのあたりをウォッチして特段、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:32	ほんまにフィードバック反映することはないなというのを確認しておりますので、
0:07:37	地震動ですとか、CAMS11の評価方針とかのですね、合間に、もしできればですね、
0:07:45	宇佐見についても並行して、をお願いしたいなと考えておりますので、その状況になったらまた申し込み等をさせていただきたいと思います。以上でございます。
0:07:59	はい。わかりましたご存知だと思いますけれども東通とかですね、泊について評価結果がですね直というかですね、何ていうんすかね。想定していたものと少し違う結果が出てきたりしているのでそのレビューとかですね。
0:08:14	本来のそのやり方が正しいのかどうかという議論も少し、発生してありますので、そういう結果にならなければね、御社の場合はまた別かもしれませんのでその辺りも見ながらですね、何を示すべきかというのはよくよく見ていただければと思いますのでよろしくお願いします。
0:08:28	わかりましたそうしましたらですね次の資料の説明をお願いしたいと思いますF14と63年度ですね。
0:08:35	お願いします。
0:08:38	電源開発阪本でございますそれでは、C182の資料のご説明に移ります。
0:08:45	まずCA182ですが、こちらは先行例に倣いまして、資料の冒頭で今回ご説明する内容や考え方につきまして、コメント回答の概要として、
0:08:57	図を示した上で、ポイントを整理して、資料の括弧つきの7ページから括弧つきの15ページに記載いたしました。
0:09:05	内容の説明についてはこれから担当の方からいたしますので、担当の小高の方から説明いたしますのでよろしくお願いします。
0:09:16	はい。電源開発のオダカですと、
0:09:19	114及び奥尻3年度による地震の地震動評価についてご説明をいたします。資料のほうをめぐっていただいて、括弧つきの1ページをご覧ください。
0:09:32	こちらにF14、こちらにはF14断層による地震の指摘事項の一覧を示しております。
0:09:40	続く括弧つきの2ページをご覧ください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:44	こちらには、1 ページと同様に奥尻 3 連動による地震の指摘事項の一覧を示しております。ここで内容に入る前に、この資料の構成と説明の進め方を確認いたします。
0:09:58	あと資料の構成は冒頭に括弧付きのページが 15 ページありまして、それ以降が、本編等巻末資料となっております。括弧付きのページのうち、前半の 3 ページから 6 ページまでに、F 14 断層による地震、
0:10:14	及び奥尻 3 連動による地震の主な変更点をまとめております。
0:10:20	7 ページから 15 ページでは各コメント回答の概要を示しております。今回コメントに対する回答ということで括弧付きのページを中心に説明し、
0:10:32	評価の評価結果等の参照が必要な場合におきましては、適宜、本編資料をにて説明するように進めておき、
0:10:41	進めていきます。それでは括弧付きの 3 ページをご覧ください。
0:10:48	こちらには F 14 断層による地震の主な変更点のうち、基本ケースの再整理について、第 1035 回、第 1073 回、
0:10:59	及び、今回説明の基本ケースに関してそれぞれ記載をしています。
0:11:05	第 1035 回審査会合の基本ケースは、下の二つの図に示す通り、アスペリティ位置が異なる二つのケースをそれぞれ基本ケースとして設定します。
0:11:19	アスペリティ値は左の図に示す基本ケース①-1 では、断層中を均等に、右の図に示す基本ケース①-2 では、
0:11:31	断層西端を基準として敷地寄りに設定しています。
0:11:36	これに対して第一線 73 回申請。
0:11:40	審査会合では、基本ケースを再整理し、アスペリティ位置は偶然的な不確かさとして分類されることから、アスペリティ位置の不確かさをあらかじめ考慮されるべきものとして、
0:11:53	右の図に示す通り、第 1035 回審査会合における基本ケース①の 2 のみを基本ケースとして再設定しました。
0:12:04	これに伴い基本ケース①のうちの震源モデルの設定は取り止めますと。
0:12:09	そして今回、今回説明では、基本ケースにあらかじめ考慮する不確かさを明瞭とするために、左の図の第 1 線 35 回審査会合における基本ケース①-1、
0:12:24	地質調査結果等から想定される震源モデル、こちら以降事前検討モデルとしますが、この事前検討モデルを設定した上で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:34	右の図に示す①-2を基本ケースの震源モデルとして設定をいたします。
0:12:42	括弧付きの4ページをご覧ください。
0:12:47	こちらではF14断層による地震の断層位置の不確かさケースの再設定について、基本ケースと同様に、第1035回、第1073回、及び、今回説明のそれぞれを記載しております。
0:13:03	第1035回審査会合の断層位置の不確かさケースでは、左の図の通り、敷地に及ぼす影響が大きくなる配置として、断層面が敷地に近づくように設定しました。
0:13:17	具体的には、括弧付きの5ページに示します通り、上段の中央の図に示す基本ケース①-1に対して、
0:13:28	下段の左の図に示す通り、背景領域の西端と、基本ケース①-1のアスペリティの西端が一致する位置に、
0:13:38	設定したものになります。
0:13:41	括弧付きの4ページに戻ります。
0:13:44	第1073回、審査会合では、
0:13:48	1035回審査会合からの基本ケースの見直しに伴い、
0:13:53	及ぼす影響が大きくなる配置として、中央の図の通り、断層面の全体が敷地に最も近づくように、等価震源距離が最短となる位置に再設定したのものになります。
0:14:08	そして今回、今回設定においては、右の図の通り、第1035回及び1073回審査会合の断層位置の不確かさケースを含む、
0:14:20	4ケースを断層位置の不確かさケースとして設定しています。
0:14:24	これは第1073回審査会合における断層位置の不確かさ係数は、等価震源距離が最短となる位置に再設定したものの、その地震動は、
0:14:35	第1035回審査会合のケースと概ね同程度であり、
0:14:40	再設定前のケースの地震動の方が、大きい周期も一部認められました。
0:14:46	これを踏まえまして、
0:14:48	断層位置の違いが敷地に及ぼす影響に関して、より詳しく確認するために、上記2ケースに加えて、背景領域をさらに東側に移動するに係数を考慮した、合計4ケースを比較し、
0:15:04	全4ケースを断層位置の不確かさとして再設定するものになります。
0:15:11	括弧付きの6ページをご覧ください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:17	やっぱり来年奥尻3連動による地震の主な変更点として、奥尻3連動による地震を検討用地震として選定したプロセスを記載しています。
0:15:28	第1073回では、三つの断層の連動を考慮することで、長大な活断層となり、
0:15:36	記念及ぼす影響が大きいと考えられるため、検討用地震に選定しました。
0:15:43	今回説明では、活断層の連動を考慮した地震について、敷地に及ぼす影響を定量的に評価し、検討用地震に選定しています。
0:15:54	具体的にはまずM Δ 図によるにより、敷地の震度を推定し、検討用地震の候補として、
0:16:02	連動を考慮した地震を選定した上で、
0:16:06	次にNGA距離減衰式による応答スペクトルの比較により、敷地に及ぼす影響が最も大きい。
0:16:13	単年度による地震を検討用地震に選定をしています。
0:16:18	括弧つきの7ページをご覧ください。
0:16:22	ここからは、各コメントに対する回答をそれぞれご説明をいたします。
0:16:29	コメントNo. S4の24のについてです。
0:16:33	こちらの内容大きく二つございまして、一つ目は、F14断層による地震の基本ケースの考え方、二つ目が断層位置の不確かさケースの再生に関するご指摘でした。
0:16:46	特に第一線35回会合の基本ケース①-1を、
0:16:52	基本ケースの事前検討とし、基本ケース①-2を基本ケースとすれば、第1035回の断層位置の不確かさケースを生かす考え方もあるとご指摘いただいたことを踏まえ、再整理したものになります。
0:17:09	基本ケースの考え方につきましては、F14断層による地震の主な変更点で説明した通り、事前検討モデルを基本件
0:17:19	基本ケースにあらかじめ考慮する不確かさを明瞭とするため、基本ケースに先立ち、設定し、これを踏まえて基本ケースを設定するように資料を再整理いたしました。
0:17:32	こちらについて本編資料での該当箇所を確認をいたします。
0:17:37	まず26ページをご覧ください。
0:17:43	ここからが、事前検討モデルの設定になりまして、こちらでは、挙手的パラメーターの設定について表でまとめております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:53	それで 27 ページでは、同じく事前検討モデルの設定のうち微視的パラメータの考え方を表でまとめたものになります。
0:18:03	これらを踏まえまして 28 ページに、徹底した事前検討モデルの
0:18:09	モデルの図をお示ししております。
0:18:13	そして続く 29 ページでは、この事前検討モデルを踏まえまして、この事前検討モデルに対する不確かさを考えることで、基本ケースにあらかじめ考慮する不確かさを整理をしております。
0:18:29	表中の青の青塗りで基本ケースにあらかじめ不確かさを考慮するパラメータを示し、表中の赤枠で、事前検討モデルに対して不確かさを考慮するパラメータとして、アスペリティの長さの方向を示しております。
0:18:47	これらを踏まえまして 30 ページに設定した基本ケースの震源モデルを示しております。
0:18:57	括弧つきの 8 ページ、冒頭の 8 ページの方には戻りください。
0:19:04	続きまして、
0:19:07	コメント No. S4-24 の二つ目の内容である、断層位置の不確かさケースの再整理に関する回答をこちらでは示しております。
0:19:16	断層位置の不確かさについては、図に示す 4 ケースを想定してまして、上段に示す、断層位置の不確かさケース、
0:19:26	と、
0:19:27	P、
0:19:29	をまず想定し、ケース A というのは、背景領域の清田尾を事前検討モデルのアスペリティ西端に合わせたケース。
0:19:37	ケース B は等価震源距離が最短となるように背景領域を設定したケースになります。
0:19:44	キャプションの一つ目ではこれら A B の地震動が概ね同程度であるものの、周期によって大小関係が異なることを、前回審査会合にて確認をしていたことになります。
0:19:58	そして A と B の比較により、断層位置の不確かさケース B に対して、背景領域を 1 メッシュ東寄りとしたケースへの地震動の方が、短周期体の一部で大きくなることが認められたことから、
0:20:13	さらに東側に、背景領域を寄せたケースを追加しまして、図の下段に示すケース C と D を追加し、
0:20:24	断層位置の違いが敷地に及ぼす影響をより詳細に確認をいたしました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:30	ケースCというものは背景領域を、ケースAに対して1メッシュ東側に移動させたケース。
0:20:38	ケースDというのは、
0:20:42	ケースAに対して2メッシュ移動させ、背景領域を2メッシュ移動させ、背景領域の正担当、基本ケースのアステッキの瀬田が
0:20:52	を合わせたケースになっております。
0:20:56	続く括弧の9ページをご覧ください。
0:20:59	前のページで示した四つの断層位置の不確か2日ケースの地震動の比較を図に示しております。
0:21:08	4ケースの応答スペクトルは全体的に概ね同程度であるものの、周期0.2秒付近では、図中の青線で示す、
0:21:19	ケースAが大きく、周期0.3から0.5秒付近では、赤線で示すケースB、また緑で示すケースDが、
0:21:29	大きい結果となっており、周期ごとの大小関係に差異が生じていることから、
0:21:35	断層位置の不確かさケースとしてこれら4ケースを採用したのになります。
0:21:42	ただ本編資料の41ページをご覧ください。
0:21:50	ここではF14断層による地震の検討ケース一覧を示しております、こちらで、断層位置の不確かさとしましては、今ほど説明した通り4ケースを採用したということになっております。
0:22:04	また、事前検討ケースについては、基本ケースの設定の考え方の整理に用いるために、設定したものであり、地震動評価は行っておりません。
0:22:14	なお、これらの地震動のレベル感については、本編資料の75ページ、
0:22:20	をご覧ください。
0:22:24	ここではF14断層による地震の前、検討ケースの地震動を比較しており、青線で示す断層位置の不確かさケースの4ケースの地震動レベルは、
0:22:35	赤線で示します短周期レベルの不確かさケースよりも相対的に小さく、
0:22:42	断層位置の不確かさは敷地に及ぼす影響に対して支配的な不確かさにならないものと考えております。
0:22:50	冒頭の括弧つきの10ページをご覧ください。
0:22:55	コメントアンバーS4の25の回答の概要を示しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:01	コメントNo.S4-25は、基本ケースのアスペリティ位置の設定に関するご指摘でした。
0:23:08	こちらについてキャプションの一つ目に示す通り、基本ケースのアスペリティ位置は、あらかじめ不確かさを考慮する考え方を明瞭にするため、事前検討モデルを設定の上、
0:23:21	再整理したものになります。
0:23:24	特にコメントでご指摘がありました、深さ方向の位置の設定については、
0:23:33	以前検討モデルでは、強震動予測レシピを踏まえ、平均的な地震動の推定する際に設定される断層中央付近に、
0:23:43	設定することが考えられます。
0:23:45	一方、杉山ほか2002によると、地表地震断層の変位量分布は、
0:23:52	震源断層浅部の滑り量分布とよく対応しているとされており、アスペリティ位置が、
0:23:59	ネオス影響の大きいパラメーターであることから、保守的に敷地に最も近い断層上端に配置しています。
0:24:09	基本ケースの震源モデルでは、事前検討モデルにおいて、保守的に敷地に最も近い断層状態に設定していることから、事前検討モデルと同様に、断層上端に設定をしています。
0:24:25	続いて括弧つきの11ページをご覧ください。
0:24:30	ここではコメントNo. S4の26の回答の概要を示しております。
0:24:36	コメント。
0:24:37	S4の26は、F14断層の、
0:24:41	断層傾斜角の不確かさを75°にしている根拠に関するご指摘でした。
0:24:48	回答は記載の通り、F14断層は、海上音波探査により、鉛直または高角北傾斜の不連続面として認められ、
0:24:58	現在の東西応力、東西圧縮応力場においては、
0:25:02	鉛直な左横ずれの活断層として評価されます。
0:25:07	F14断層を、純粋な横ずれ断層とみなした場合に、傾きが90°となりますが、断層傾斜角は、地震規模及び断層面、
0:25:19	から、敷地までの距離に直接係るパラメーターであることから、引き継ぎ及ぼす影響が大きくなるように、不確かさとして、断層面が敷地に近づく南傾斜を、
0:25:31	考慮します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:33	鉛直 90° の左横ずれの F 14 断層において、不確かさとして考慮する断層傾斜角は、一般に地質構造の検討における、
0:25:43	断層傾斜角が 30° 刻みとなることを踏まえまして、高角 60° の断層との中間値の断層傾斜角 75° を考慮したものになる。
0:25:56	続いて括弧つきの 12 ページをご覧ください。
0:26:01	こちらではコメント No. S 4 の 27 億円等を、の概要を示しております。
0:26:07	コメント No. S 4-27 は、奥尻 3 連動による地震について検討用地震に選定したプロセスに関するご指摘でした。
0:26:18	回答はキャプションに記載している通り、活断層の連動を考慮した地震についてし、敷地に及ぼす影響を定量的に比較するため、M Δ 図により、
0:26:29	検討用地震の候補として、2 年度、3 年度による地震を選定した上で、
0:26:36	N G 距離減衰式による応答スペクトルによる比較により、
0:26:41	奥尻 3 連動による地震を選定したものになります。
0:26:45	評価の具体的な内容について本編を確認いたします。7 ページをご覧ください。
0:26:55	ここでは検討用地震の選定対象となる地震として、活断層の連動を考慮した地震をまとめており、
0:27:03	表に示します通り、隣接する三つの断層の連動を考慮した地震として、
	(1) (2) は 2 年度の地震、
0:27:13	(3) は 3 年度による地震として三つの地震を想定をしております。
0:27:19	続く 8 ページをご覧ください。
0:27:22	検討用地震の候補となる地震を M Δ 図により選定をしております。
0:27:29	右の図に示します通り、
0:27:31	活断層の連動を考慮した三つの地震は震度 5 以上となることから、検討用地震の候補となる地震として選定をしております。
0:27:43	10 ページをご覧ください。
0:27:47	M Δ 図により選定した三つの地震から敷地に及ぼす影響を比較し、検討用地震を選定しております。
0:27:56	比較にあたっては、気象庁マグニチュードの推定式の適用外であること、及び、活断層の連動を考慮した地震においては、モーメントマグニチュード、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:07	用いることが適切と考えて、モーメントマグニチュードを入力値として、地震動が評価可能なN G A式による敷地の地震動を比較し、
0:28:18	敷地に及ぼす影響が大きいと考えられる。
0:28:21	3年度による地震を検討用地震として選定をしております。
0:28:28	冒頭の括弧つきの13ページをご覧ください。
0:28:35	ここではコメントNo. S4の28の回答の概要を示しております。
0:28:42	コメントNo. S4-28は、奥尻3連動による地震の破壊開始点をアスペリティ下端、またはアスペリティ断層の方に設定した考え方に関するご指摘でした。
0:28:57	回答は、キャプション内の記載の通り、アスペリティの上端、或いは側方に設定した破壊開始点は、断層下端2は、
0:29:07	配置した破壊開始点と異なり、赤井が敷地に向かって進行する配置となります。
0:29:14	しかしながら、断層面の断層面上の破壊伝播の方向と、敷地の方向等のN a F角が約45度から約60度と大きいため、
0:29:24	ディレクティビティ効果があらわれがたいことが考えられます。
0:29:29	以上のことから、アスペリティの上端、或いは側方に設定し、破壊が敷地に向かうような位置に、破壊開始点を設定しても、
0:29:39	機器に及ぼす影響の差異は小さいと考えられると。
0:29:43	ということで断層下端、或いはアスペリティ型に配置した考えとなります。
0:29:49	続いて括弧つきの14ページをご覧ください。
0:29:55	コメントNo. S4の29の回答の概要を示しております。
0:30:01	コメントNo. S4-29は、奥尻3連動による地震の長周期側へのちよ、
0:30:08	影響評価に関するご指摘でした。内容は大きく二つございまして、一つ目がハイブリッド合成法に用いた理論的手法の結果を示すこと。
0:30:19	二つ目が、経験的グリーン関数法により、
0:30:23	地震動評価を実施する妥当性を示すことができました。
0:30:28	一つ目につきましては、下の右の図で基本ケースについてはハイブリッド合成法、統計的グリーン関数法及び理論的手法の地震動評価を示しており、
0:30:42	前回審査会合では、理論的手法の地震動地震動は、示しておりませんが、今回、緑色で示す理論的手法の地震動評価が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:54	接続周期の4秒よりも短い周期で卓越しておらず、ハイブリッド合成法の接続周期としては適切であることが確認できるかと思います。
0:31:04	二つ目については、括弧つきの15ページをご覧ください。
0:31:09	ここでは地震規模が最大となる断層傾斜角の不確かさケースの地震動評価について、
0:31:16	経験的グリーン関数法、ハイブリッド合成法及び理論的手法の地震動評価を比較しており、
0:31:24	ハイブリッド合成法及び理論的手法による評価が、周期5秒までの長周期における竹井部は認められず、経験的グリーン関数法による地震動評価が妥当であると考えております。
0:31:39	内陸地殻内地震のF14断層による地震及び奥尻3連動による地震のコメントに対する回答のご説明は以上になります。
0:31:50	はい。そうしましたら確認事項等あれば適宜お願いします。
0:31:58	規制庁佐藤ですけども、(7)ページですかね、これ。
0:32:05	前回の会合でね、この断層位置の不確かさについて考え方を整理してくださいというコメントなんだけど、
0:32:13	(7) (8) ページ見るとね、結局これ、
0:32:17	整理しきれないんじゃないかなって私は思うんですよ。わかりよくわからないので、メッシュを1個ずつずらして、結局全部やりましたと。9 (9) ページに、
0:32:29	結果を書いているんだけど、
0:32:33	多少出込み込みはあるにしても、窓口の清倉部なんで、これどれもどれを取ったらいいかわからないので結局全部不確かさケースとして、四つ考えましたっていうふうにしかならないうちにちょっと聞こえないんだけど、
0:32:46	ここの整理はちゃんとされたんですかね。
0:32:50	すいません。私からも同じところがすごく気になってるんですけど、慌ててうがった質問を一つ変わってきておくと、じゃあ何で四つずらしはやらないの。
0:33:01	ていうなった質問が出てくるんですけどそれも含めてちょっとご回答もられますか。
0:33:13	えっと、電源開発小高です。江藤。
0:33:16	まずいよ。日本ケースせ。
0:33:19	でした。
0:33:21	考え方。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:23	としましては前回の審査会合では、
0:33:26	ケースAとケースDを設定してありましてこの差がワンメッシュ
0:33:31	しか変わらないものになって、
0:33:34	見ますと、これらを比較するとしてケースB、
0:33:39	が等価震源距離最短ということで、こちらで江田。
0:33:43	を選ぶというような考え方を前回審査会合で説明をしましたが、AとB での差がそれほどないし、保守側の不確かさケースであると言い切れな かったと。
0:33:56	というようなご指摘をいただいたと。このため背景領域をさらに東側に移 動させて、背景領域の西端は捨てる際の生態に合わせた不確かさケー スDというのも、
0:34:09	追加するように言及されたと、理解をしております。
0:34:14	ただ、その場合このケースCというこの1メッシュ、
0:34:20	のみ
0:34:22	このケースCというのがですね。
0:34:25	ええ。
0:34:27	についても1メッシュずらしたものでその影響についても漏れなく確認 する必要があるだろうというような考えのもと、結果的にこの1メッシ ュずつずらしたやつをすべて採用したというような考え。
0:34:40	見えますがただ1名刺ずらしたものに対してのコメントをいただいたと いうことで、守れなく検討するために4掲載をし、
0:34:49	4ケースを想定したものになり、その地震動評価としましては、
0:34:54	9ページに示す通り、大小の出っ込み引っ込みあるところから、
0:34:59	から4ケース採用するということになっております。
0:35:05	また永石さんからの
0:35:08	4メッシュで出したものは想定しなかったのかと。
0:35:12	ということにつきましては、今回断層内の断層1ケースAからケースB西 側に動かしても、短周期の一部で地震動が小さくなる傾向があったた め、
0:35:24	さらにニーズ側に配置するケースについては検討は不要と考えたものにな ります。
0:35:30	回答としては以上になります。
0:35:34	うんちょっとあんまりね、ずっと落ちないんだけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:38	一番最初の3月の会合でね、いや例えば今のその不確かさケース、ケースBですか。
0:35:43	そういうならそれで筋は取ったんですよ3月のときに、うん。
0:35:49	ちょっと前はね、少し難癖をつけさしてもらって、いやいや前々の方がワンメッシュまあね近いんだからそっちの方が大きくなるんじゃないのみたいな少し、
0:35:59	そういうことは言わしていただきましたけどもでもそう、それをそうしろと言ってるわけではなかったんですよ。なので考え方を整理をしてくださいと。アスピリティの西橋とそれから断層1、背景領域の西橋を合わせるっていう考え方もね、実はあるとあるサイトの
0:36:17	では、やっているのですねそういう考え方もあり得るのでね、ここは考え方を整理してくださいっていうのが前回の会合の
0:36:25	趣旨だったわけなんですよ。
0:36:27	ちょっとこれだとね何か考え方が整理しきれてないなっていう今日の印象なんですよね。
0:36:32	もっと言うと9ページなんですけど、今度はそれ、
0:36:37	全部計算して応答スペクトル出して、
0:36:40	結果比べてるんだけど、
0:36:43	ここでもその分多少出込み込みはあるにせよですよ、ここでも判断しきれてないんだよね。
0:36:50	三つ目のポチのなおですね、なお書きがもっと気に入らなくて、
0:36:55	断層位置の不確かさは敷地及ぼす影響に対して支配的な不確かさはならないと考えるって書いてるんですよ。
0:37:03	ならないんだったらこれ不確かさケースとして断層位置の不確かさって考えなくてもいいんじゃないのかっていう。
0:37:09	こと私は言いたくなるんですよ。
0:37:13	我々断層位置を動かすっていうその不確かさケースはねこれは
0:37:18	定義開発オリジナルの考え方ということでねそこはアクセプトしましょうっていうのは審査会合で言ってるわけないすでに、
0:37:26	何かこう矛盾するような書き方をしてないですかね。
0:37:31	ちょっとは我々にはずっと落ちないんですよそこは。
0:37:36	電源開発のオイヌマです。
0:37:38	まずですねちょっと
0:37:41	追加の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:43	ご説明なんですけれども、本編資料の 35 ページを、
0:37:48	ご覧いただきたいんですが、
0:37:54	確かに佐藤さんのおっしゃる通りその四つ、
0:37:58	を選定をしたものの、
0:38:01	選びきれてないっていうのは、ご指摘の通りで、そこに至るその考察を ここには、
0:38:07	確認したんですけれども、
0:38:09	えーっとですね、三つ目の、
0:38:11	ポツの、
0:38:12	0 点二つあると思うんですけれども、
0:38:15	まず
0:38:16	それぞれが若干違うっていうところをやっぱり
0:38:19	今回その各ケースとも、
0:38:21	その震源断層が敷地に比較的近いんで、
0:38:24	ちょっとアスペリティと背景領域の位置関係が異なるので、その業者か ら伝播する人重なり合いの違いで、
0:38:32	やっぱりどうしても違いが出てくると。ただその絶対値でいうと、前回 も小数点二方の、
0:38:40	違いでしかなかったというところで、今回もですね、四つ設定したんで すけど、
0:38:46	要は、全部で 100 メーター以下の違いしかないので、
0:38:50	レベル感でいうと大きな、大きな差が出ないと、なので
0:38:56	前回の
0:38:58	3 月の会合のケースで 1000、前回の会合後今回追加した 2 ケース、四つ を
0:39:04	なんすかね、選定して考察を、結果を出して考察すると、どうしてもな かなか一つに、
0:39:13	選びきれないというところのまとめになってるってのは事実です。は い。で、
0:39:22	次の
0:39:24	間周期レベル。
0:39:26	ほとんどというところなんですけれども、
0:39:31	75 ページか。
0:39:32	いや、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:37	いや、概要。
0:39:41	これか。
0:39:44	あと9ページですかね、なお書きで書いたところもちょっとちょっと後、表現が、
0:39:55	なんすかね。ちょっと不適切だった。
0:39:58	かもしれないですね要は
0:40:00	他の。
0:40:04	例えば、先ほど長井さんからご指摘あったような、何メッシュずらしてみたいところの議論が、そういったところを仮に動かしても結局、
0:40:14	距離があまり変わらないので、
0:40:17	そうすると、ただ、
0:40:21	金田層が比較的敷地に近いんで、それでコミコミの差が出てきてしまうものの全体的なレベル感で言えば、短周期レベルの不確かさよりは
0:40:30	小さい形になっているという考察までを変えたという、
0:40:35	ところでございますはい。
0:40:37	すいません私が言ったときに、頭に何て言ったか覚えてますか。
0:40:42	西側にどういった、いやその前にですね、その前になってつきまして私、
0:40:47	この前、
0:40:50	あったですけどって言ったんですよ。
0:40:53	はい。はい。
0:40:55	あったって言ってたんでそもそもこの考え方おかしいよって言うのに気づきませんかね。
0:41:01	なんで結果を見てモデルを決め直すんですか。
0:41:06	結果を見てというのではなくて、いや、今、決められないといった結果を見たから決められないんですよ。
0:41:14	我々がまとめたのモデル設定の考え方があるって、結果を見てどうこうしろということを書いてないんですけども。
0:41:24	なるほど。そういう意味でいうと、オイヌマですけれども、
0:41:29	今回のこの駅経緯から申し上げますと、
0:41:33	その(8)ページの、まずその括弧Aと括弧Bとの相対関係から、
0:41:40	スタートしたので、結果から、
0:41:44	考察を入ったってということになりますはい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:51	まあねちょっとここはねもう1回考えていただいた方がいいかもしれないですよ、これでいくっていうなら別にこれであの審査会合上げますけどね。
0:41:59	これやっぱり皆さんのね、地震動に限らず資料の作り込みがねやっぱりその一番最初出したやつを、基本思想として変えたくないっていう思想があって、
0:42:10	ずっと最初からの資料をね、
0:42:13	残してるんだからこうややこしくなっちゃうんじゃないんですか。
0:42:19	あとはこれ、前段これけ、今長井から話あったようにね、これ別に結果を見てね、いやいやどれも甲乙つけがたいんで全部採用しますってそんなことは、我々求めているものではなくて、
0:42:32	考え方をちゃんと上流側で決めてくれっていう。
0:42:37	そういうふうな指摘をしているわけなんですよ。なのでそこはねちょっと。
0:42:42	順番が逆なんじゃないかなんて結果見て決められないからこれ全部採用しましたっていうにしかちょっと私には。
0:42:49	思えないんだよね。
0:42:53	うんという感じはしますよ。
0:42:56	根本委員最後の75ページまで引き合いに出してねいや同席はしませんよっていうのはねオイヌマさんそれはちょっと違うと思う。
0:43:05	理屈が違うそれは、
0:43:10	連携はサカモトです。今のご指摘ちょっと確認させていただきたいんですけれども、
0:43:16	我々モデル化の考え方として、断層位置の不確かさはこうするべきだろうっていうのを示したのが前回の会合で、
0:43:26	等価震源距離が最短になる場合が一番影響が大きいだろうという形でご説明したつもりでございます。それに対して石渡先生も含めて、
0:43:36	中北井によっては違うとケースの方が大きくなると、結果を見た上で、ご指摘をいただきましたので、結果も重視しつつ、
0:43:47	ケースを決めていくものなのかなという。
0:43:52	ちょっと思いもございまして、
0:43:54	ここ、尾上藤尾については時計が結構ございますのでともともと我々、
0:44:01	申請段階では、アスペリティの配置については、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:06	今日の資料で言う事前検討モデルと同じ配置にしておりました。それに対して断層位置は、アスペリティの西丹と断層位置を合わせる形で、敷地側に設定すると。
0:44:18	そういう考えがもともとあったわけですが、会合の折に、三石審査官だったと思いますが、
0:44:26	背景領域はセンター合わせでとか細かい具体的なご指摘をいただいて、その点申し訳ない時を聞きたいわけではなくて、
0:44:36	そういう作業を簡潔にお願いに行くと、考え方。
0:44:42	これご説明したのがちょっと
0:44:45	結果が伴ってないんじゃないかというご指摘をいただいたというふうに認識してるんで今回のような資料になったということでございます。
0:44:56	イワタですけれども
0:44:59	こちらから多分求めていたものっていうのはですね、もうちょっとやはり上流側の考え方を整理した上で、今ね、等価震源距離の話が出ましたけれども、
0:45:09	前回の会合でも例えばDみたいな極端なケースも含めて考えてくださいということを申し上げてるのは、これは別に1個1個ずらしてどうこうということではなくてですよ。
0:45:19	敷地に対しての影響という観点からどういうところに置くと、この断層位置のに対して、インパクトがあるのかないのかというところを、まずは整理をしていただいた上でここに置けば、これ以上のか
0:45:33	なんていうかはみ出すものがありません的なね、整理をしていただいた上で結果を見せてくださいだと思うんですよ。でないと、今回もね、先ほど来から議論があるように、結局いろんなところをやるとね、もうちょっとこのケースもあるんじゃないかみたいな話にもなるじゃないですか。
0:45:48	そうすると、これって際限がないわけですよ。今回のケースでこれは十分なんですけど不十分なんです。ケースEはやんなくていいんですかみたいな話になるので、
0:45:57	ではなくて、上流側で、本来、こういうところに置けば、十分であろうみたいな話をですねやはり整理をした上で、結果をお示しいただくというやっぱり、
0:46:09	順序をねしっかり守ってもらわないと、何かこれだけ決めただで全部選びますけどあんたたちどうしますかと言われてるような気もするんでね、そうじゃないんじゃないですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:25	電源開発高岡でございます。
0:46:29	今、建築担当が申した通り短周期の地震動の観点これ政治的なところをよく見ろって石渡委員のコメントをかなり重視しなきゃいけないかなと思ったもので、
0:46:41	AからBへ、
0:46:43	言ったら、
0:46:45	西動かしたら家の方が大きいところがあるから、その反対側の方ですね。
0:46:51	CとDをやっかまぼこあんたのピークを探すようなイメージで、
0:46:56	やったと、ワンメッシュ刺したCについては私の方からそういうのやるべきだっていうそういう話をして入れた経緯がございます。今規制庁さんのご発言を伺ってますと、
0:47:08	やって全部じゃないできちんと上流側のロジックをきちんと整理しようというふうに理解いたしましたので、
0:47:15	我々としてはPですね、前回お出しした等価震源距離が最短のケース、ロジック的にはそれが一番合理的じゃないかと考えておりますので、
0:47:27	本日お出ししたような係数については
0:47:31	予測っていうか参考的に検討して、そんなに変わらないだから上流側からの整理としてA Bが、合理的だっていうのが一つロジックできると思いますので、
0:47:41	そういったところでもうちょっと整理、
0:47:44	考えてみたいと。
0:47:46	思います。
0:47:47	そうだよ。
0:47:49	規制庁サトウですけども、
0:47:51	等価震源距離って言ってもね、これ80メートルしか変わらないですよ。
0:47:56	皆さん方この前から等価震源距離はいやいや最短になりますっていう説明を強調されてるけど、80メートルですよこれ。
0:48:05	そこを皆さん方強調されるんなんていうかな、その意味合いってのはあるとおっしゃってるのかな。
0:48:12	80メートルですよこれ。
0:48:17	ケース時計、あのケースで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:21	もう私はちょっとそこを何かこだわるその理屈が私には全然わからないんだけどね。
0:48:27	一発目からヤスダオオイ最短ケースが一番小さくなりますって言うてしかもですよ。
0:48:32	ほんま蓋げたのところ議論してんですよ皆さん。
0:48:35	資料にはこんな1桁しか。
0:48:38	表示してなくて、いやいや埼玉県迫でこれが一番小さくなりますっていう説明はね、
0:48:44	私はちょっと理解はできないんだけどね。
0:48:48	0勝サカモトです。ご指摘のことは我々も認識してございます。
0:48:55	結局
0:48:57	先ほどのご指摘ご指摘というか確認事項として、結果を見て判断するんだって考えるのではなくてモデルを設定するときはどう考えるかっていう形で、
0:49:07	整理してくれっていうなご指摘だったと思ってるんですけども。
0:49:11	そうした場合にそれが80メートルがいいかどうかってのはとりあえずあると思いますけれども、
0:49:16	敷地に対する影響というものを考えるときに地震の場合はその規模と距離の関係。
0:49:22	で、どうなんだっていうのは当たりが当たりをつけるってのが通常の考え方だと思いますので、それに対して点震源じゃない面震源ですから免震への影響をどうとらえるかっていうあたりで、
0:49:33	考えた場合に一つの答えとしては等価震源距離、それは、80メートルがどのぐらい意味があるんだっていうのはあるかもしれませんが考え方としてはあり得るんじゃないかというふうには思います。
0:49:47	ちょっとこの話なんで、この整理の仕方としてですね、今事前検討モデルということで、事前にアスペリティセンター合わせ、背景領域もセンター制っていう形で、
0:50:00	モデルを作ってますけども、この事前検討の段階で、
0:50:04	その背景領域の断層位置の不確かさをどこにどういったらどの程度影響がありそうとか、そんなような考察を加えた上で、
0:50:13	一つのケースに絞り込んで、断層位置の不確かさはこう考えますと、というような形にすればいいんよろしいのかなというのは、ちょっと私印象を受けたんですけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:24	そんなこと感じでよろしいですか。
0:50:31	我々が今明示的にはこうしろというふうなことは言えませんが、それは御社に任せますけどね。そういうのも一つ。
0:50:39	方法としてはあり得るかもしれないですね。
0:50:42	さすがにこれ4K層やAからDまで、いや4ケース考えましたっていうのはこれはちょっとさすがにな、なかろうと我々思っています。
0:50:52	逆にこの、
0:50:53	いや、
0:50:54	そうするとね。
0:50:55	矢田伊佐、等価震源距離が最短になりますって言ったら前回と同じだねなんか、
0:51:02	そうですねそれで、当然、審議最短のケース等はメッシュずらしたような今回の4ケースみたいなやつを合わせて、結局、大方、
0:51:12	どれを取っても同じぐらいのレベルになるだろうというような結論になっていくんだとは思いますが、
0:51:18	その辺を少しちょっと考えて整理し直したいと思います。
0:51:24	そそれはそれでいいかもしれませんがそうするとね、アスペリティの西畑背景領域西橋野合わせたやつだって、本社だってここに書いてあるじゃんか。
0:51:33	Dとね、BとDが
0:51:36	0.3秒から2.5秒大きくなるんで、両方大きくなるんですって書いてるんだけどDは考えないんですか取らないんですかっていう質問が出てくる横、次は、
0:51:46	私だったらすごく聞くけどね。
0:51:49	電源開発のオイヌマです
0:51:52	えーとですね、ご指摘の通りだと思ってまして前回の会合で、等価震源距離が最短なものを提示したにもかかわらず
0:52:02	前回出したものとの差がない、もしくは一部の周期で上回ってるということで、等価震源距離だけをですね、佐藤さんおっしゃった通りで、
0:52:13	80メートルとかしか違いのないところで、それを、要はですかね、感度の高いパラメータとして設定するっていうことの、
0:52:24	妥当性っていうご指摘だと思いますので、その切り口含めて改めて考えた上でですね、上流側で整理したいと思います以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:34	規制庁佐藤ですけども前回ねちょっとけちをつけさしていただいたのはね、これ、結果を皆さんこれ比較してこのケースAとケースBをね、結果を出して、
0:52:44	出し出した下から我々ちょっとコメントさせていただいたんであって、結果なければ別にいや、等価震源距離が一番ちっちゃいの取りまして、採用しますっていうんでもそれは、
0:52:55	一理あるなんて思っ思うんだけど、結果を見せられてしまったらそういうふうにならざるをえないんじゃないですかねっていう、そんな感じだったんですよ。
0:53:07	なのでここはもう1回多分整理は必要なのかなと思うんですけどもうん。任せますけどね。
0:53:15	ここはいいですか。
0:53:18	阿部委員勝野小沼です。承知いたしました。
0:53:23	北井って何。すいません長井ですけどこのね、(9)。
0:53:27	ページで出されてる例は、
0:53:29	0ってはっきり言っちゃったけど、これ1例でしか過ぎないと思うんですよ。
0:53:35	これ全然違う順番になるのね幾らでもあると思うんですよ計算結果として。
0:53:40	私はそういうのはこれ統計的やってるからですよ。
0:53:44	種地震これ全部違うんじゃないですか。
0:53:48	それでもう大小企画室も大分比較ってそもそもできるんですか。
0:53:55	揺らぎのことをおっしゃってるんですよ。うん。その通り。
0:54:00	つまり結果から行くのってそもそも不合理なことやってませんかっていうのは、ちゃんと考えてください。前回出した提示の結果っていうのも、差があるのか差がないのかってちゃんといろんな要因で確認した上で、
0:54:12	コメントを返してもらうのがベストだったんですよ。
0:54:15	私はこれ全部差がないと思ってるから、
0:54:19	差があるようで差がないものだと、単にそういう、
0:54:22	破壊過程をずらウワズ出したことによるものであるから、これはあくまでモデルの決めの問題をちゃんと説明してくれっていうことです。
0:54:30	えっとね、(9)なんですけど、
0:54:33	これって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:35	これ何ケースやってんですか。
0:54:37	ちょっと数だけスペクトルの数だけちょっと教えて欲しいんですけど。
0:54:44	を何本かケースが5点あるので一つのNS成分の中には4×5の20本20分でいいですか。はい、わかりました、数だけ確認させてください。
0:54:58	これはこの件はこれで、
0:55:01	いいけど、
0:55:02	いいすか。次いきますよ。
0:55:04	次ねこの(11)ページのね。
0:55:08	F14断層の傾斜角を、の不確かさ75とした考え方なんですけど。
0:55:15	三つ目の矢羽根なんですがね。
0:55:17	これーは基本的には前回のと変わってないんだけど、一般的に地質構造の検討における談笑、断層傾斜角は30°刻みになるって書いてあるんだけど、
0:55:27	この一般的にっていう言い方はどこから来てるんですかね。
0:55:32	一般的に。
0:55:33	ていうことは非常に便利なんですけど、一般的にっていうのは
0:55:38	どういう考え方から来てるのか、ちょっと教えていただけませんか。
0:55:43	はい。電源開発天野です。
0:55:47	もともとは一般的にという表現ではなくて縦ずれと横ずれ差という形で説明しようと思っておるんですけども、使うとASJは横ずれであると。だから縦ずれ断層の
0:55:59	想定される一番高額な60度、
0:56:01	サクサに縦ずれではないので、横ずれとして見るのであればその中間ぐらいでいいだろうというのが最初に説明した内容なんですけど、そこで縦ずれとの比較という表現をするとわかりづらいという指摘がありましたので、
0:56:13	そのイワタテずれという言葉を使わないで、
0:56:16	ほかに言い方がないかということで、一般的に0を30°60°という、通常で言っていたん。
0:56:23	これ、
0:56:25	具体的にどの文献のどこに書いてあるというとなかなか難しいんですけども、通常我々が地質調査を見るときに、断層分けるのであれば、
0:56:32	縦ずれであれば60°か工学であろうと、大体その高角の断層で大体60°っていうのは割と出てくる言葉だと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:40	なので、一応 6 枚は縦ずれという言葉を使わないために、一般的に 30° 刻みという表現に変えたというのが
0:56:48	今一番正しい答えですね。はい。
0:56:59	規制庁佐藤ですけどこれねいや前回と何か同じ、同じ文言だよな気がするんだけど、
0:57:05	ちょっとね何か改善がないなと思って。
0:57:10	一般的に地質構造の検討におけるっていうのは今回新たに加えた用語かもしれませんが、
0:57:18	何かちょっとここ説明もう少し何とかならないもんですかねっていうのをちょっとコメントしておきますよ。
0:57:26	別にこれ、中間値の 75° じゃなくても別に、いい方って 80 度、
0:57:32	ていうのをやっていて別にな、何でもいいとは思うんだけど、
0:57:37	あまり根拠はないんだけどね。
0:57:39	はい。で書いたもんです。先行サイトで 80 度ってのは、実際見てるんですけども、特にそれに具体的な根拠が、
0:57:47	審査資料上はないというふうに認識しておりますのでわざわざ理由書く必要があるのかなっていうのもちょっとってはいるんですけども、もし理由をつけるのであれば、やはり最初に示し、一番最初に私の方で考えた聞く縦ずれと横ずれの、
0:58:01	差が大体 60 度と 90 度になるだろうとその中間というのが一番本当はわかりやすいかなというふうに考えておりますんでそれでよければできればそれに戻したいというのが、
0:58:10	実際の本心でございます。
0:58:17	ちょっとね、ここ一般的にっていうところはね少しちょっと考えて欲しいですね理由つけなくてもいいかっていうと実は粗相ではないんですけど、フィックスでもちょっとやっぱり入れてもらう必要はあろうかと思えますけどね。
0:58:31	いい方ほらやっぱり中央構造線ってのはやっぱり一級の活断層だからさ。
0:58:37	あれは別にもう 80 にしたからって大した影響はないんだけど、
0:58:44	よろしいですかそこは、
0:58:46	R e g u l a t o r y です
0:58:49	ちょっといろいろ考えております。はい。
0:58:51	あと過去 12 ページなんですけどね、ここうが奥尻 3 連動のこのセクションの話なんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:59	これちょっと下を変えたんだよね話をね。
0:59:03	流れフローチャート書いてますねこれね。
0:59:08	そこを変えた理由をちゃんと説明しないとわからないんじゃないの。
0:59:15	電源開発織田です。前回から、
0:59:23	選定の流れとしては、嘉永たという認識でおろすですねと。
0:59:28	2 ページ括弧つきじゃないほうの2 ページですね。
0:59:32	の方の2 ページのカラフルなところで、
0:59:36	この大きな検討用地震の選定及び震度評価の流れのところで、
0:59:42	見ますと、ちょっと違いがわかりやすいんですが、
0:59:46	まず、左側の灰色で塗っているところ敷地周辺の線源として考慮する主な活断層と連動を考慮した。
0:59:54	活断層この二つから下に矢印が落ちていて、ここの下のところでM Δ 図による検討用地震の候補となる地震の選定と、
1:00:03	いので、この上の二つの個別と連動を一緒にN データで比較をしたと。
1:00:11	そのあとに個別については野田、連動を考慮したものについては、NG A 式、これ、NG が算定できないことから火、
1:00:22	エヌジェーシーMWで評価するNG A 式で選定をするというような流れに前回から変わっているという認識で
1:00:30	いいです。以上です。
1:00:36	いや、だから、書いたら変えたんですっていう説明をちゃんとしないとわからないってし指摘してるわけですよ。
1:00:43	ここの概要版。
1:00:45	だから二段階、二段階でセレクションしていますって話でしょ。
1:00:52	ご認識の通りです。会えたという説明が、
1:00:57	上がらなかったのは申し訳ない。
1:00:59	うんで内容の方に入れるようにいたしますはい。うんで2 年度って今回新しく出してきたんでしょこれ。
1:01:07	違う。
1:01:09	この2 年等につきましては新しく出しました。
1:01:15	やすい傾向で、核なのでそこを、
1:01:18	変えたってのは変えたっちゃう説明をしてもらわないと。
1:01:22	何かここさらっとなんか行き過ぎてる感じがするんだけど。
1:01:25	そこのセレクションは二段階にしましたと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:28	いう説明をしていただかないとわかんないすよ。
1:01:32	はい。電源開発の安田です。
1:01:35	奥尻3年度に関する主な変更点につきましては括弧つきの6ページちょっとこちらの文章だけでわかりにくかった。
1:01:44	説明をさっと流してしまったかもしれませんが、こちらについてです。ねまず今回説明のところの二つ目のポツですけれども、
1:01:53	まず、MΔ図によって震度を推定して、
1:01:57	ここの候補として、2年度による地震もを加えた上で、NGの距離減衰式によって、検討地震を選定すると。
1:02:08	違いについてはちょっとこちらの方に記載させていただきましたので、説明の時にしっかり強調してご説明するようにいたします。
1:02:17	うんここちゃんと書いて欲しいんだよね。MΔで何をセレクションして、次の段階でNGAで何をセレクションしたんですっていうのを書いていただかないとわからないですね。
1:02:30	あと、これ皆さんNGAでこれオートスペクトルやってるけど、今NGAだつっていうのはあるんだよね。
1:02:37	そこは皆さん、気がついている、気が付いていないどちらですか。
1:02:45	電源開発の保田です。
1:02:47	NGA IIがあるのはご承知してまして今回のNGA式は2014年を使っております。
1:02:55	や、少し略称で書かせていただいた。
1:02:59	ところあるんですけども、資料の方、本編資料の方ですね、エヌジェーシーの方で少しコメントをつけ、浅利の方をつけておりますけども具体的には10ページですね。
1:03:12	NGA式を選定するにあたって、五つの式を使っておりますけども、具体的に油破損から
1:03:20	他のですね五つの文献を記載させていただきます。
1:03:25	サトウですけども、いやだから、NGA IIでも、これは四つ、四つ、五つは変わりませんっていう客値をするのか。
1:03:33	或いはNGAW IIを最初から引用するのか。
1:03:38	ということなんですけどね。
1:03:39	いや世の中の人はいこれ見て、いやNGAつ。
1:03:42	てあるんだけどそれはすぐ参照してないのとか、
1:03:46	新しいよねっていうふうな質問もあるかもしれないですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:51	そういうことを危惧してるんですけど私は、
1:03:59	コメン等
1:04:00	先ほどのご指摘、ご意見を踏まえましてこちらの方、NG。
1:04:05	Aの11でちょっと少し表現を正確にしていきたいと思います。
1:04:13	セクション。
1:04:15	すいません若干先走ったところも出てしまうかもしれないんですけど、
1:04:19	これ最初のところ気象庁マグニチュード使っていて、後で使えないって いうその論理矛盾はどういうことなんですか。
1:04:27	使えないんだったら一括で使えないって使わないし、して欲しいし、使 うんだったら、これじゃあもう大体でも書けるよねと思うんですけど。
1:04:34	そこはなんで一貫してないんですか。
1:04:40	資料の7ページですね、1-7ページの一番下の着者の中の一番下のポツ ですね。
1:04:51	資料7ページでは活断層の連動を考慮した地震について、の説明になっ ていますが、一番下のポツでは、この地震規模について、地震規模は巻 末の補足に示す通り、松田、
1:05:04	NO適用外であるものの、個別の活断層による地震と同様にMΔ図によ る検討用地震の候補を選定することとし、あくまで参考として、松田に より算定すると。
1:05:16	いうことで守っていたものになりますので、ここはあくまで算定で用い ておりますので、リムジンとしてはしてないものと考えております。
1:05:28	ちょっと括弧の8ページのプロットとか正確じゃないって言ったような もんですよね。それで選定可能なんですか。
1:05:42	松田でも、
1:05:47	適用会ですがこの、あくまでこの相対的な比較において、このエフデル た図における相対的な比較においては有効なものと考えて、用いたもの になります。
1:06:04	うん。はい。お考えはわかりました。
1:06:06	ちょっとねそこはもう少しこれ考えていただいた方がいいと思いますよ ここ。
1:06:12	ちょっとちなみにですけど、これ。
1:06:15	確かに、ナガイナガイ断層のある断層長の長いものになると、気象庁マ グニチュード使えないかもしれないけども、
1:06:22	例えばこれ、三つあるよね。それぞれ個別に

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:27	等足し合わせるって出して足し合わせるっちゅうこともなきにしもあらずなんだけど、ちなみにそういうことはやっているやっていない。
1:06:35	入ってる。
1:06:37	はい。
1:06:38	補足 100、補足の 135 ページの方に、をご覧ください。で、
1:06:46	この 135 ページではですねその個別 2 出して足し合わせるという方法がナンバーキャプション内のナンバー 4 の方法というものになるかと思ひまして、
1:06:58	これは地震本部 2009 の区間分割合算法による地震モーメント、
1:07:03	インター池村 190 を適用する方法ということで今回この補足の方で確認をしております。その結果 136 ページの方でどういう扱いにしたのかを、
1:07:16	この矢尻のナンバー四つ目の方でまとめておひまして、こちらではナンバー 4 の方法については、
1:07:23	連動を考慮した地震の時モーメントは竹村の適用範囲の上限より適用性はある。ただしかし、区間分割加算法により算定される地震モーメントは、Murotani 及び壇ほかにより算定される地震モーメントに比して、
1:07:39	過小評価となっており、これに基づく気象庁マグニチュードは適切ではないものと評価。
1:07:45	判断したということになっております。
1:07:49	一応検討としてはこちらでしているものと考えております。
1:07:54	はい、わかりました。
1:07:56	別に大小関係比較する部分においては別にこれ使っても構わないかもしれませぬしここはねもうちょっと整理が必要だと思ひますねいずれにしても、
1:08:07	大小を比較するだけならね。うん。
1:08:12	電源会社のオイヌマでちょっと若干追加の補足的な説明になるんですけども、
1:08:19	先ほどの
1:08:22	2 ページですね本編 2 ページの方で、
1:08:27	2 ページじゃないですね失礼しました。本編の
1:08:37	8 ページか。
1:08:39	ですね、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:41	そうです。なんで長井さん等のご指摘と考えるとともともと
1:08:49	個別の
1:08:50	檀勝断層による地震のM Δ でのプロットと、今回
1:08:58	奥新屋様は、参考として使ってる。
1:09:01	ものとしてのその個別の断層との比較はなかなか難しいと思うんですけども、
1:09:05	連動同士の比較であれば使えるというふうに判断して、採用いたしてしますので、そこら辺わかるように、記載を充実したいと思います。以上です。
1:09:21	今の補足ね。そうすると、はい。
1:09:25	あとねちょっとなかなか、
1:09:28	いろいろあるんですけどすみませんが長くなって、
1:09:31	91 ページね、ちょっと先行きますよ。
1:09:36	91 ページなんだけどね、これ。
1:09:39	断層パラメータの設定方針で、例の国交省 2014 っていうのをこの前はねコメント回答だから、それ補足じゃなくて、本本編の方に入れてくださいねって言ったんだけど、
1:09:52	もはやこれ本編に残しておく必要すらなくて、補足にももう、
1:09:58	もう使っていないわけだから、国交省なんて使っていないわけだからこのスケージング則は、私はこの辺の後ろのもう 1 ページはいらんんじゃないかと思ってるんだけど、これあえてここに残しておくのは何か理由があるんですか。
1:10:13	了解さ、前回と同じ履歴という意味で、残しましたけど、前回、
1:10:20	この会合で結論出ましたので、
1:10:24	そういう意味でいうとなんすかね。この本編の中の内容では不要になりますので、
1:10:30	それを反映して、
1:10:32	行くべきかと思います。だからね皆さんその利益が大好きなんですよやっぱり昔の昔の何か
1:10:39	過去の出来事を消したくないんだなやっぱりな、そういうのを言わないですか永遠に残しておくよね、資料がわからなくなるんだよね。
1:10:48	アップデートしていくようにしました。
1:10:51	99 ページいきますよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:53	99 ページはね相当違和感があるのは最初、どっか説明があったけど冒頭で、
1:10:59	このアスピリティオカ谷奥理由をね、我々から少しヒントは出したんだけど前回の会合では、
1:11:06	この方に置く理由をね、ちゃんと説明してねっていうコメントだったんだけども、
1:11:11	今日の説明は何、全く私は陸納得できないんだけど、
1:11:15	結局上においても下においても同じぐらいで差異はないんですって説明をしてたよね。
1:11:21	ポート。
1:11:23	もうそう言っちゃ身も蓋もないんじゃないの。ちゃうも上に置いてやってくださいっていう結論にしかないよ、これ。
1:11:32	頭のあれか。
1:11:33	括弧書きの何ページだったかな括弧書きの何ページにそう書いてたな。
1:11:42	電源開発の保田で先ほどのコメントはアスピリティー1ではなくて、もともと破壊開始点をどこに設定するかというコメント、指摘をいただいでいて、それに対する
1:11:54	影響の確認に関してご説明したということになりますけれども、失礼、破壊開始点だったね。うん。
1:12:01	深井甲斐氏で例えばこのアスペリティの上端に置くとかそこ側面に置くとかっていう、
1:12:07	考え方もあるんあるんじゃないですかっていうコメントだったね。
1:12:11	今日の結論は、
1:12:14	以上のことから三つ目のポチなんだけど、長短或いは側方に設定して破壊が敷地に向かうような位置に破壊開始点を設定しても、
1:12:22	敷地及ぼす影響は差異は小さいってことは、
1:12:26	何かたんじゃなくても足足歩行側方側面でもジョウタンでも、
1:12:31	変わんねえだろうっていうそういう話なのこれ。
1:12:34	そういうことを意図している。
1:12:38	じゃあ他の方の、うん、いやホカホカ上端側側面にも置いてくださいねっていうしかちょっとないんだけどね、我々としては、
1:12:50	あと破壊開始点につきましては 100 資料の 102 ページの方で、説明をもう少し詳しい説明をしております、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:01	ステージ、このピチャピチャの中の2ポツ目で、滑りtの上端或いは側方に配置した甲斐甲斐支店は、断層下端に配置した海外センターとなり、破壊が敷地に向かって進行する配置となると。
1:13:15	赤井が敷地に向か影響については、巻末の補足7において、断層型に配置した会社に対して破壊伝播が敷地に向かって進行する断層状態に、
1:13:26	配置した破壊開始点の震度を比較して、敷地に及ぼす影響の差異も小さいことは確認しております。
1:13:33	その要因としまして、そしてその下のポツで断層面上の破壊伝播の方向と敷地の方向のナスカがよく、約45度から60度と大きくディレクティブティ効果があらわれがたいということ。
1:13:47	が考えられますと、
1:13:49	そうしますと破壊開始点はアスペリティの上端或いは側方に配置し、破壊が敷地に向かって進行する位置を考慮した場合でも、渡の伝播の方向と敷地の方向のN a F角は、
1:14:01	この巻末の7で確認した上端、
1:14:04	破壊開始点と同様の値となると、このため断層、アスペリティの上端、或いは側方に配置しても、断層上端に配置した場合と同様に、ディレクティブティ効果、
1:14:15	効果はあらわれがたいから、うん。
1:14:17	いや、
1:14:18	そう、破壊開始点としては断層下端及びアスペリティ型に代表して設定したものを考えております。
1:14:30	金井ですけど中身全然わかんないんですけどただいえることは一つで、また結果からですか。
1:14:35	考え方はないんですか。
1:14:44	電源開発の谷津です。
1:14:47	案外、破壊開始点の設定に関する考え方については、まず101ページにですね、まず、どこに置くかということで、
1:14:58	強震動予測レシピとそれから破壊開始に関する知見をこれをもって、我々としては
1:15:05	アスペリティパターンなし断層下端に設定することが良いというふうに考えてます。で、ここで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:13	102 ページ以降また説明してるのは前回ですね、断層の状態に破壊開始点が間を置いておいていたことそういった過去の経緯、また形になるんですけども、
1:15:25	そういうこともあって、この考え方を
1:15:30	整理をして、102 ページの方でまとめているといったところになります。
1:15:35	考え方としては 101 ページの方へ述べさせていただいて、規制庁サトウですけども、断層面上端とね、これスピリットの状態でちょっと位置付けが違うと思うんだよね。
1:15:47	そこに過去の経緯を出されてもちょっと困るんだけど、
1:15:51	ここはちゃんと説明をもう少し適正な、適切な説明をしていただきたいなと思ってますね。いやもしおなじところにおいても同じだったら、
1:16:00	いや我々側面にも何か長タニも置いてやってねって多分言うかもしれないっすよ。そしたら、
1:16:06	何でしただけでいいですかって。
1:16:09	あとねこの 102 ページの記載が気に入らないんだけどね。
1:16:13	一つ目のポチね。
1:16:17	破壊開始点を、2 行目です A s p e r i t y の状態或いは側面速報に設定することも否定できないっていう、否定できないってなんかね。
1:16:28	非常になんか言葉としてあまり美しくない。
1:16:31	側方に設定するという考え方もあるみたいなそうそうじゃないのか。
1:16:43	これは適正化言葉の適用後の使い方だけなんですけどすみません。
1:16:47	適切じゃないと否定できないみたいなそりゃ皆さん方はそう思ってるかもしれないけど、
1:16:55	普通それ考えたらそういう考え方もあるよね、なんかね。
1:17:03	まず考え方としては確かにここに書いて記載してます通り、置くことも考えられるということでただ、速報等を
1:17:14	所状態に置くといったことと、方を比べてですね下端で今回代表できると判断して、型にしたといったことにはなりますがこのこちらの表現については、少し考えたいと思い
1:17:26	うん。もうちょっと聞くとね、そうすると代表できるのは下端だけだから勝たなければいいって言うけど、
1:17:32	これは要するに手間だけですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:34	計算量だけですか。
1:17:37	す側面においてもいいんです。或いは状態においてもいいんですつつつたらもう手間だけの話。
1:17:46	端的に聞きますけど、
1:17:48	レベル感、地震動のレベルとしては大きくは変わらないと思ひ、ここに書いてあると変わらないと思ひます。ただ今回ですね、この
1:17:57	奥C3連動については、断層の方整理の方にですね、9点、かなりの数を
1:18:08	設定してですね地震動評価結果をお示ししておりますので、我々としては過去の
1:18:15	県サイドの先行を事例を見ても十分な数の高屋支店を設定しているのではないかというふうには考えています。
1:18:25	いやいや、私が聞いているのはそうじゃなくて、いや手間だけの話ですかって聞いちゃう。
1:18:34	やればやると言ったらやれば、結果が出るっていうそういう話ですか。
1:18:40	って聞いているんですけど。
1:18:43	やれば、電源開発のヤスダですけれども、土肥計算は自体は可能です。
1:18:50	ました。
1:18:54	刀禰後次のちょっと行きますよ。すいませんが、ちょっと細かくて申し訳ないですけども、
1:18:59	うん。
1:19:01	経験的グリーン関数法でいいんですって話が114ページかな。
1:19:08	こあったんだけど、
1:19:10	これね、
1:19:14	114ページの一番下の行か。
1:19:17	経験的グリーン関数法による地震動評価が妥当であることを確認するって別に妥当であることじゃなくて、
1:19:25	経験的グリーン監査法による地震動評価でも、
1:19:28	いいって言うことを言ってんでしょ、ハイブリッドしなくても。
1:19:33	妥当であるっていうのはちょっとね私は何かちょっと何かいいやかんがあるんだけど、
1:19:39	両方を比較して経験的グリーン関数法による地震動評価結果を採用する、或いはそれでもいいっていう、
1:19:46	その程度だと思うんだけど、何か別に妥当かどうかって何か、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:51	示してくれって言ってるわけじゃないよねなんかね。
1:19:53	違います。
1:19:55	電解角山です。そうですね理論的手法で表面の影響とか確認して、結局その経験的グリーン関数法を大きく上回るものではなかったんで、
1:20:07	経験でグリーン関数法の結果を
1:20:10	採用するという方がより適切だと思いますすいません。そうですね。
1:20:15	あとねこれ、今3福士3連動の話だけなんだけど、F14もあれだよな。
1:20:22	統計的で。
1:20:23	やってんだよね。
1:20:25	うんこれハイブリッドを使ってるんだけど、
1:20:29	これ。
1:20:30	蹴っ湖西があるよねなんかね。
1:20:34	何ページやったっけな、この前指摘すればよかったんだけど、そっちもまずは、理論的なやつ、
1:20:41	結果もあわせて示してくださいね。
1:20:43	審査会合では言ってなかったけどこっちで出してねって言ってお出してもらって、
1:20:47	F14で出してもらってないのは何か不十分な気がするんですよ。
1:20:53	何ページ比較あったっけなあ。
1:20:56	米藤尾に戻って申し訳ないけど、
1:20:59	補足の147ページ、
1:21:03	値F14についてハイブリッド等統計的の比較は載せております。
1:21:09	これってさ、結構、
1:21:11	帰りがあると見えない。
1:21:16	お帰りをおっしゃいますが、何と何の会議になります。
1:21:22	長周期1秒ぐらいから、
1:21:24	ちょっと離れ過ぎではないのか。
1:21:28	不毛な人と、
1:21:30	あと統計的統計的のSGFとハイブリッドが、差異があるというご指摘、うん。
1:21:39	ここにはねほぼ同等ぐらいですって書いてんだけど、
1:21:43	以上、
1:21:44	以上か。
1:21:46	すいません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:47	こんなものでいいのか。
1:21:50	あの、
1:21:54	こちらにつきましてはこの
1:21:57	赤、
1:21:58	周期約 1 で長周期側ではハイブリット、この赤線というのが理論とハイブリッドしたことによって、統計的グリーン関数法よりも概ね同等以上になっていることから、
1:22:09	適切に、
1:22:12	接続されているということで確認をしたものになります。
1:22:17	同等以上になっていることを確認した、
1:22:22	マイズいずれわかりました、そしたらいずれにしてもこれも理論的なやつを入れてくださいね。
1:22:30	はい。やっぱり、F14 と奥尻だと規模が違うんで。うん。議論のピークが、やっぱり大口だと非常にいってしまって、その値が出てると。なるほど。
1:22:42	いやそんなそんなでかい書いて欲しいんだけど何か。
1:22:46	ちょっと前回書かなかったんですよ。そんなんだよね。うん。はい。
1:22:53	ナガイですか、であるにしろ、奥尻の時、括弧つき 15 ページで出してるのは、
1:23:00	私は、
1:23:01	ごめんなさい直感的な印象でしかないんで、間違ってたんで、それは、説明してもらいたいですけど、どう。
1:23:07	理論的はキッツに文章があるんですよ。
1:23:11	これグリッドサイズと筧さん大丈夫ですか。このは、いわゆる 1 秒 2 秒とかって周知があってちゃんと計算できるだけのグリッドサイズやりますか。相当計算の膨大になるかもしれないですけど。
1:23:26	計算については適切になされても、いうことは確認をしております。
1:23:32	ちょっと補足するとおっしゃる通りメッシュサイズ学科の対象となる周波数を考慮の上決めてるんで、それは問題ないですね。はい。
1:23:42	そういう、そういう言い方をする逆に 1 秒によって計算できてない。
1:23:47	いえ、そんなことないですね。
1:23:50	うんそれくらい警察には 34 キロメッシュが必要だと思うんだけどそういう意味で計算したんですか。
1:23:55	してます。いや千葉さん。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:58	すいませんちょっとキロ数今申し上げられないですけど確認した上で、ごめんなさい今言葉僕も今間違った斎木じゃなかった。その四分の1でした。
1:24:05	1ぐらいのメッシュで計算しないと、PPBの計算ではだから、
1:24:10	地盤の速度とかで、メッシュとか出せるんでそれで、周波数。
1:24:16	例えば分解能を決めてますんで、ちょっと今手元にメッシュサイズはないのであれですけど確認しますーグリッド数が少ないと、変位量がどんどんちっちゃくなっ
1:24:26	てへんに、落ちてくる可能性があるんで、一応そういうのはチェックしておいてください。
1:24:31	要はありがとうございますはい。
1:24:34	ちょっと先行きますよすみません。
1:24:36	153 ページね。
1:24:38	この前説明していただいた工学的断層上端におい設定した破壊開始点による影響についてっていうのももうこれもはやモヤイいらないでしょうこれ。
1:24:48	御社も残しておきたくないよねもうねこれね。
1:24:57	はい。
1:24:58	承知しました。はい。うん。はい。なんかそうやってアップデートしていかないとき。
1:25:03	資料が、どうも過去の引きずり過ぎててさ。
1:25:07	よくわからないんですよ。
1:25:09	はい。
1:25:11	あとねちょっと戻って申し訳ないけど、(15) ページ。
1:25:17	これも日本語の適正化の問題だけなんだけどここもね、
1:25:21	一番最初の箱色が色分けしてる箱をね、
1:25:25	統計的グリーン関数法による地震動評価結果を採用する妥当性って書いてあるんですよ。なんか妥当性っていうか理由だよね多分ね。
1:25:33	理由なり、適切性なり合理性なりぐらいだよね何かね。
1:25:37	何か妥当性って、ちょっと私はちょっと引かかるんだよ。
1:25:42	下の箱も同じで、経験的グリーン関数法に地震動評価が妥当であることを確認したってのはこれ結果、
1:25:49	これ。
1:25:50	あれだよね結果を採用する。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:53	ことをなんちゅうか、採用するって言い切ってもいいけど、
1:25:58	比較して経験的な方使いますっていうだけの話なんで、
1:26:02	ちょっと妥当性っていうのはちょっと何か私は引っかかるんだけどね。これは用語の話だけですな。
1:26:11	という感じなんですけどあともう1点気づいたのは50ページかな。
1:26:15	50ページで、F14の応答スペクトル法に基づく地震動評価で、
1:26:22	①から③までは書いてるんですけど、基本ケースからね、④は書いてないんだよね短周期レベルの不確かさこれ結局基本ケースと同じだから、
1:26:32	①と④ってのは併記になるんでしょう。
1:26:35	多分、
1:26:38	それであえて書いていないっていうだけかな。
1:26:43	④についてはそうですねMとX e q、おなじ同値になるので書いていないということになります。
1:26:52	腰括弧して書いていただくとか何か、そうしていただいた方が丁寧ですね。
1:26:59	はい。表現については見直すように、追記するようにいたします。
1:27:20	はい大体、イワタですけども大体こちらから特にメイン担当の方からですね意見がありましたけどもやっぱり
1:27:28	両括弧ページのところの整理の仕方っていうのはね、やっぱり、
1:27:32	あんまりこう、前回の会合の趣旨を踏まえた、
1:27:36	何か並びになってないんじゃないかなってところが大ざっぱに言うと、そういう印象を受けました。特に、最初の方からちょっと繰り返しになっちゃうかもしれませんけれども、F14のね不確かさケースの再整理も、
1:27:49	結果としてね両括弧9ページ目にグチャッと出されてこれで同じでしょうと言われてもわからないしこれあの破壊開始点はね、全部まざった全部のケース載せられてもこれ何がいいんだか悪いんだかもよくわからないし、
1:28:01	何をこのページで伝えたいのかっていうのはね、正直、私たちはよくわかりませんでしたと。
1:28:07	11ページも結局、さっきもコメントありましたけれども、
1:28:11	75°となる、その理屈を一応考えてくださいと言ったんで考えたのかもしれないんですけど、これ前回からあまりその進歩がないですよというところはそう思いましたし、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:21	あとねやっぱり一番私に致命的じゃないかと思ったのは、多田の2ページのところね、これ
1:28:31	この説明はね多分他の方々が聞いても全くわからないと思うんですけど、
1:28:36	要は3年度をね、検討用地震として選びますのフローなんですけど、
1:28:41	この絵を見てね。
1:28:44	皆さんがやろうとしてることが、その伝わりますかね。
1:28:47	なぜ2連動が急に出てくるのかもよくわからないし、
1:28:51	だいたい我々聞いているからねわかるんですよ。
1:28:53	いろんなね適用範囲の問題とかで、こういうような検討もやった上で最終的にこうしました分かるんだけど、このフローはね。
1:29:01	少なくとも全体を示すなのに、なぜその
1:29:06	連動を考慮した活断層がまた右側に出てきて読め△がまた下に行ってっていう、NGAが出てきて、こうなるのかっていうのはね、
1:29:15	これはねえ。
1:29:16	多分、
1:29:17	誰も理解ができないんじゃないかと思いました。やってることをそのまま書けばいいってことじゃなくて、我々の前回のコメントはね、なぜ検討用地震の選定のプロセスにおいて途中で出てくるはずのものが出てこないのであればまあね。
1:29:31	今回も入ってますけれども、1個ずつやった上でね、そこでもう連動する中で入れますという判断でもいいんだと思うんですよ。
1:29:38	個別に定量的な評価を見せた結果こうしますっていうことじゃなくてもいいと思うんですけど、要は考え方がね、しっかり入ってないし、どの段階で選定するんですかっていうその手順がおかしいんじゃないかっていうのは、メインの多分指摘だったと思うんですよ。
1:29:53	そういう意味から考えても、ちょっとこの絵を見てね、即座に検討用地震の選定のやり方がね、我々わかりましたってのはなかなか、
1:30:03	理解がしがたいものがありますよね。
1:30:06	なので全体的に言うともうちょっとやっぱり、前回のコメントを踏まえた上でどういう主張をするのかというのが、正直言って
1:30:16	やったことを縮尺してるので、
1:30:19	結果から導き出しましたよみたいなねことになってるんだけど、考え方を整理した上でこういう手順でやるんですよと、というようなね並

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	びになってないというのが、正直申し上げて、今回のこの資料では、なかなかこう、
1:30:33	前と後行ったり来たりしないですね、全体何やってるのかよくわからなかったり、先ほどもいろいろね、個別の議指摘もありましたけれども、
1:30:45	冒頭のねこの両括弧ページを説明いただいたとしてもですよ。
1:30:49	なかなか他の方々には伝わらないんじゃないかと思うんですけど、これ社内ではどうですかね。これで皆さん納得しましたか。
1:31:09	電源開発の山根です。なんすかね。ええ。
1:31:15	誤記踏まえた
1:31:18	審査資料の、
1:31:19	作成の
1:31:21	その業務フロー。
1:31:24	通りきちっとその建築、
1:31:27	いわゆるそのなんすかね。
1:31:29	事務局等も全部含めて、きちっと議論して、みんなで
1:31:36	コンセンサス終えた上でですね、この資料を作り上げてますので社内の中では、これが、
1:31:43	これでよしという形の手順を踏んではおるんですけども、もう少しです、どう、
1:31:50	なんすかね。
1:31:52	は、外から見て、
1:31:54	表現がわかりづらいところってのは今日いろいろご指摘あったと思いますんで、ちょっとそこら辺は、今一度ですね、そういった面ももう一度もう一段上げてきて、
1:32:05	確認の上作成していきたいと思います。
1:32:09	赤田ですけど、すいません。うん。社内で見えて、私以下で、事務局を含めて確認して、当然確認しております。
1:32:19	それで審議終わったものはこう来て、確認して、
1:32:24	バシッかっていうのもございましてそういうのが、
1:32:27	概ね妥当と言ってもらった後、まとめ資料に向けて取ろうかなと、うちでとるのはちょっと早すぎるかなと思った次第があります。それから3月の審査会合で、実質、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:38	概ねいいんじゃないかっていうような、そういうようなお話もあったものであんまり大きく、これまで言われてないところ、
1:32:46	変えるわけにもいかないなというところもあった次第でございます。それで、
1:32:52	ただ、そういう中でも結構話が不3回にわたって複雑になってしまったので、
1:32:59	経緯も残さなきゃいけないっていう意識もありましたので、経緯を残して、
1:33:04	ありますので、かつ、
1:33:08	国民の皆様、一般の人が見ても専門家じゃない人が見てもわかるようにという意識意識で作ってはございますか、作ってきたつもりはございますが、
1:33:19	ちょっと本日の資料では、できがまだ今ひとつということですので今一度、
1:33:26	考え直したいと思います。
1:33:29	はい言い方ですけれどもまさにね皆さんの中では大体、
1:33:34	理解をされたということのようなんですけれどもやはり
1:33:38	経緯っていう話がありましたけどね。それも先ほど来から資料の構成の話で少しコメントありましたけれども、いらぬものはね、抜いていいんですよ。
1:33:47	ただ、その経緯がわかるっていうことをしっかり書いていただきたいのはその括弧ページのところですよね。前回どういうその趣旨の指摘があって、
1:33:56	それを踏まえてこうしましたよっていうところ、まさにその前段部分でね、よく理解していただくというところさえしっかり書いていけば、もともとの、
1:34:06	あったファクトをね後に改めてつけていただく必要は多分ないし、そうしないとやっぱり資料だけが厚くなってね、我々もこう見ていくとですね、やっぱり前回これなくなったんじゃないかみたいな資料を後ろの方にきちっとパッとまた入ってるわけですね。それやっぱり辛いわけですよ。
1:34:21	なんでこれ入ってるんだろうと。また元に戻って何か使ってたっけなと思うと、あんまり使ってないわけですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:26	そういうこともね含めてやっぱり資料構成は考えていただかなければいけないし、繰り返しになりますけども前段部分で、これまでの経緯も踏まえて、
1:34:36	どういう指摘があってどういう趣旨だったのでこれはこういう確認をして、考え方をこうしましたと、その結果がこうですということを改めて主張していただくというような紙を作っていたかかないと、
1:34:48	なかなかこの、次、次回の会合でね、前段部分だけ聞いてもやっぱりわかんないところが出てくるし、後も含めて全部種市から説明しないと、ロジックも含めてよくわからないわけですよ。結果だけ見てくださいが一番多分よくないですよ。
1:35:02	あくまでもぜ、考え方がこういう再整理をしたので、こうなりましたと従って不確かさについてもこういうところを選定しましたみたいなことがね、整理ができないと、
1:35:13	だから
1:35:14	すみませんこれもまたすみません何回も繰り返しになるんですけど、8ページ9ページを見るとね、一体何をしたんだらうと、結果がこうなったんだからこうですよというふうに主張されてるんだなと我々受け取ってしまうんですね。
1:35:26	そうすると、だんだんもう次のページをめくるのが嫌になってくるので、議論がね、何か進まないんじゃないかっていう気がするんですよ。
1:35:33	従ってここはね、もう1回整理をされるべきだと思うんですがどうでしょう。
1:35:41	電源開発高岡でございます。冒頭からもう一度整理ということをおっしゃってますのでその点は承知
1:35:49	いたしました。それで今、岩田和智さん言われたように今、経緯は括弧ページってということで、おそらく、
1:35:57	審査資料の作り方がこの夏場以降、多少規制庁さんも動きが変わってる。
1:36:04	うちは感じまして、
1:36:06	変更点を前に出して概要ということで、かなりですねえ、本店の内容を書くなしのページはダブるところもあってその辺かなり知恵を絞って見ながら作っ、
1:36:16	いるところですよ。
1:36:20	ですのでそういう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:23	最近の他地点の資料も見ながらやってはいるんですけども、本日ですね、規制庁のBチームの皆さんの農協が、
1:36:32	ある程度わかったところがありますのでもう一度、
1:36:37	資料の構成、それから、先ほど来何度も出てくる考え方ですね、これも社内で議論してる時、かなり
1:36:45	最初、
1:36:47	結果あんのっていうのが多いんですけど、かなり
1:36:50	言ってですね考え方も書くようにはしてるんですけどまだまだ足りないということですので、
1:36:56	相談、重きを置いて、もう一度見直したいと思います。
1:37:07	今、今言った思い出しましたけども(5)ページね。
1:37:12	(5)ページ
1:37:14	このね診療モデル設定の考え方がねこれがね混乱を招くものなんですよ実は。
1:37:20	実は、
1:37:21	これ事前検討モデルからスタートしてんだけど、これ地層じゃなくって、
1:37:27	そうじゃないんですよこれ、今今の御社に行ってる基本ケースからスタートしてもらわないとこれもうこれがね、混乱の大元なんですよ、実は。
1:37:35	ここはちょっともう1回、再考していただいけませんかね。
1:37:40	ていうのが一つね。
1:37:41	あと、コメントリストなんですけども、11月7日にね、現地確認を行って、
1:37:47	に行っていますが、そのときもコメント大きなコメント一つ置いてきているので、それをコメントリストに追記をしていただいけませんか。現状入っていますか、入ってないですよ多分ね。
1:38:00	この2点ですか。
1:38:04	電源開発の仲間です。現状は行っておりませんので、次回、お示しする際には入れたいと思います。
1:38:12	中身はちょっともう1回、
1:38:14	中身。
1:38:16	加賀ですけど大きなコメントと言われたのは、おそらく大嶋部長言われた資料構成とか、そういう理解ですけど、そういう理解でよろしいです

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	か。いやいや規制庁サトウですけどもオシメ部長がちょっと何かナガイ演説で
1:38:32	あれではなくて、あれではなくてあれは置いといて、そうではなくて、イワタの方から言ったコメントが一つあって議事概要にも一応載っけてはいるんですけど。
1:38:43	現地確認行ったときの、
1:38:46	素行のコメントを拾ってちゃんと書いて欲しいっていう、井戸なんですけども、
1:38:54	わかりました。ちょっと確認して
1:38:57	それ拾ってですね、現地確認を行う大きな極めて大きなコメントだったと私は認識してるんですけどもそのコメントをちゃんとここに入れてもらって、
1:39:08	それは言ってるんでしょうね来週の資料の中にコメントとしては、
1:39:19	イワタですけどあえて前回のコメント申しませんがね、スタート地点をねちゃんとしっかりしてくださいという趣旨で申し上げたと思うので、そこがぶれちゃうと、議論にならないと思っていただいたらいいんじゃないかと思うんですね。つまり、
1:39:31	これまでね、説明していただいた中身なんですけれども、
1:39:35	改めて、要は、
1:39:37	リセットして、
1:39:39	どこにスタートを置いた上で、ちゃんと考えてくださいねっていうそういう、
1:39:43	大ざっぱに言うとそういうことなんで、中身は説明しませんがね、ちゃんと多分記録は取られてると思うんで聞いていただければわかると思うんで、はい、よろしくをお願いします。
1:39:53	今の点で良い見方をっていう、いうと持ってこの紙は審査会合におけるっていうふうになってるから入ってないのかもしれないけど、であればね別紙で作って、現地確認を受けたコメントとかっていう、ちゃんと紙を作っていただくというのも一案だと思うので、
1:40:07	その辺り整理学も含めてちゃんと整理しといてください。
1:40:13	はい。0勝タカオカでございます。はい。承知いたしました。
1:40:19	佐藤ですけどそれは任せるけど、だってこれから現地調査とかね将来ことになればまたそれコメント出るんだし

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:27	細かにアテンドしていくんじゃないですかねと思うんだけどね。書き方は任せますよ。
1:40:56	連結型ですけども、もし、
1:40:59	本件よろしければ、次の資料のご説明に移りました。えーとですねすみませんちょっと今日はですね、時間が全然我々もなくてですね、議論をしている時間がもうないので、
1:41:11	説明だけ聞くことになっちゃうんでちょっとこれはねもう次にまわしたいと思うんですよ。
1:41:15	なので次のスケジュールを皆さん少し考えてもらえますか日次回のヒアリング確かもう予約されてると思うのでそこで今日の残り分をやるのか。
1:41:25	S11を先にやるのかそう。それもね、ちゃんと考えておいていただかないと、我々としては内陸地殻内地震がセットで審査会合だろうと思ってるので、審査会合がまだ、
1:41:37	後ろに行っちゃうのか、もしくはS11を先行して1回話を聞いた上で、審査会合に向けて頑張るのかそこは皆さんに任せますので、次回枠をどう使うかっていうのを改めて聞きたいと思いますので、事務的に連絡してください。
1:41:53	運天赤津タカオカでございます。
1:41:57	平成11もう
1:42:00	是非とも審議していただきたいので、今、
1:42:04	15日、
1:42:05	セットしていただきますのでそれはSG1項やっていただきたいと思います。
1:42:11	それで、立金方針については、それだけでヒアリングをやっていただくわけにはいかないですかね審査会合は承知なんですけれども、
1:42:20	ヒアリング自体もF14奥尻と一緒にないといけないのかその辺をちょっとご教示いただきたいと思います。いやそれは別々でもいいですけどもただ審査会合に上げるためにはですよ。先ほどのF14とF、口3連動の話もね、セットであげたいと思ってるので、
1:42:37	その説明だけ先にやるっていうのはありだと思いますし、あとは、いや再度今回の資料を再度整理をした上で、全体版を説明したいっていうんだったらそれでもいいですし、別に我々もそれをすでに資料できてる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:50	結城再現断層だけ聞くっていうのも、全然それは構いません。
1:42:55	はい。承知いたしました隆起再現断層についても、しようってきてますので、
1:43:03	引き続きお願いしたいなと思います。太枠ルールございますんで、S11で人が困ってるだけですので、もう1枠使って申し込みたいと思いますが、あれですかね、年内はもう無理ですかね。
1:43:21	サトウですけどももう事務的にちょっとあのんややりますので、ちょっと我々今ちょっとちょっとあのテーブル持ってないので、スケジュールを持ってないのでわからないので、
1:43:31	後で事務的にご連絡ください。
1:43:34	はい、高岡でございます承知いたしました。
1:43:43	はい。規制庁側から大体そんなところでよろしいですか。はい。電源開発から何かございますか。
1:43:52	現時点ではございませんので、
1:43:57	以上で、はい、じゃあ、そうしましたらですね本日のヒアリングは以上にしたと思います。どうもお疲れ様でしたありがとうございました。 はい。お疲れ様でした。どうもありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。